

エコファーム 活用最優秀 磯沼ミルクファーム

中央畜産会は29日、エコファームを活用した畜産物生産の優良事例表彰式を東京都港区の機械振興会館で開き、東京都八王子市で酪農を経営する磯沼ミルクファームを最優秀賞に選んだ。もやしやニンジンジュースのかすなど多様な食品残さを生かし、飼料にもエコヒートなどの未利用資源を利用している点を評価した。

優秀賞は、愛知県豊田

市などで養豚を展開するトヨタファームと熊本県立農業高校が受賞。特別賞には大規模なエコファーム工場を千葉県で運営している神奈川県のブライドピックを選んだ。

磯沼ミルクファームは、関東圏を中心に、9種類のエコファームを入手し粗飼料、市販の配合飼料と自家配合をしている。飼料成分や給与量を調整し、嗜好(じごう)性を上

げ、乳量増加にもつなげている。飼料だけでなく、敷料にもカカオの皮やコーヒーヒーの皮といった食品残さを利用しているのも特徴だ。トヨタファームはパンくずなどで生産し、た豚肉をブランド化。食堂を運営する6次产业化促進事業の一環。食品残さなどの飼料化技術を

改良事例表彰は、エコファーム利用畜産物差別化促進事業の一環。食品残さなどを飼料化技術を活用し、特色ある畜産物を生産する先進的な事例を調査し、波及性の高い優良事例を発表・表彰ピックは国内最大級のエ

コファーム工場を千葉県で運転。月間5000トンもの食品残さを飼料化する。巨大冷蔵庫を備え衛生面にも配慮。脂肪酸組成にも配慮した配合設計や地域の飼料米を活用している点も評価された。

2017/11/30 農業新聞